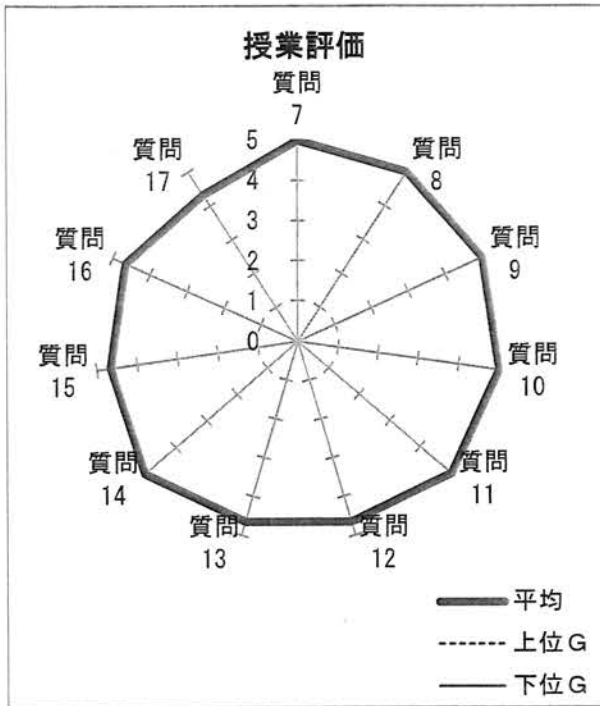


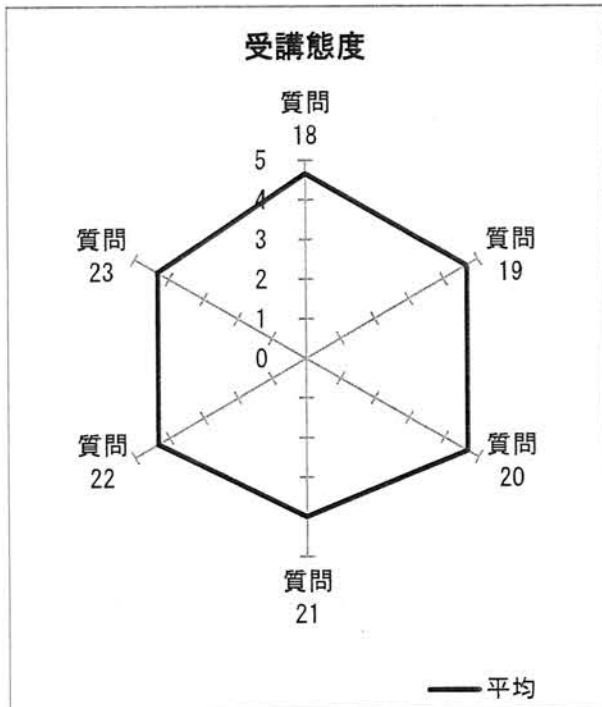
科目コード 310 (2018年度 後期)

文学部 人間関係学科 細井 浩志 日本史概説Ⅱ



質問項目	平均	上位G	下位G
質問 7	5.0	5.0	#DIV/0!
質問 8	5.0	5.0	#DIV/0!
質問 9	5.0	5.0	#DIV/0!
質問10	5.0	5.0	#DIV/0!
質問11	5.0	5.0	#DIV/0!
質問12	4.7	4.7	#DIV/0!
質問13	4.7	4.7	#DIV/0!
質問14	5.0	5.0	#DIV/0!
質問15	4.7	4.7	#DIV/0!
質問16	4.7	4.7	#DIV/0!
質問17	4.3	4.3	#DIV/0!
平均	4.8	4.8	#DIV/0!

質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施
 質問 8 : 教員の授業時間遵守
 質問 9 : 教員の話し方
 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用
 質問11 : 教員の説明のわかり易さ
 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮 (私語の注意等)
 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応
 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映
 質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか
 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか
 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.7
質問19	4.7
質問20	4.7
質問21	4.0
質問22	4.3
質問23	4.3
平均	4.4

質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか
 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか
 質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3…)
 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか
 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか
 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担当者名	科 目 名	履修者数
文学部	人間関係学科	細井浩志	日本史概説Ⅱ	3

2018年度後期授業評価アンケート集計結果：教員による分析・評価と2019年度に向けての取り組み

I. 分析と評価

前期同様、予想通りの高得点であった（全体平均4.8）。受講生は全員現代日本文化学科の留学生で、他学科科目を積極的に受講した学生たちである。「受講態度」が全体平均4.4で前期には及ばなかったが、熱心に質問をしてくれた。またシラバスに添って授業を行ったが、受講生に了解を取ったうえで進行速度はシラバス通りではなく、理解度を確認しながらわかったら先に進むという形を取った。これにより完全には予定した最後のところまでは説明できなかったが、歴史的観点の修得という一番重要な点では成功した。

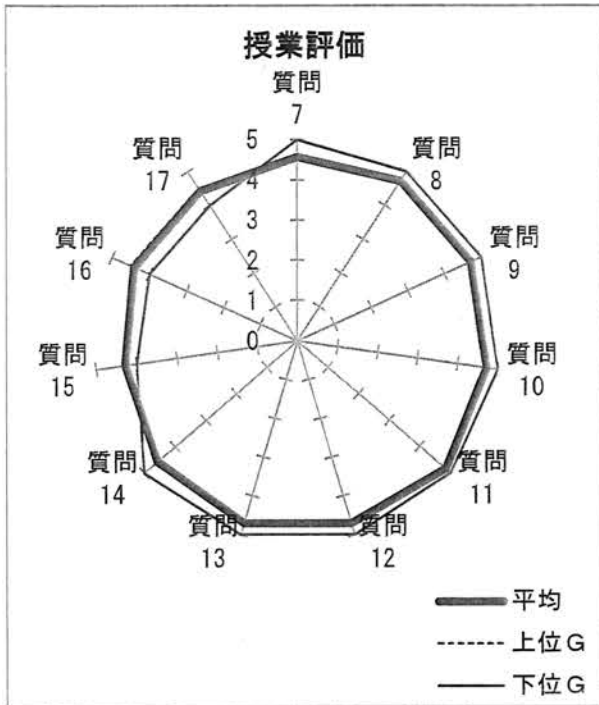
II. 2019年度に向けての取り組み

2019年度担当予定科目名： 日本史概説Ⅱ

可能なら、同じスタンスで授業をしたいと思う。ただし授業の予習・復習をもっと促す方法も考えたい。それによって授業進度も速くなるであろう。

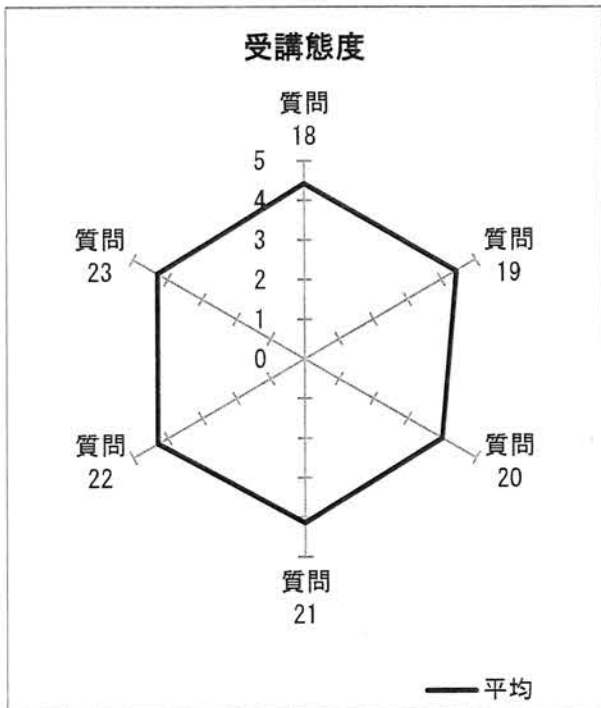
科目コード 311 (2018年度 後期)

文学部 人間関係学科 細井 浩志 日本史講義Ⅱ



質問項目	平均	上位G	下位G
質問 7	4.6	4.5	5.0
質問 8	4.7	4.7	5.0
質問 9	4.7	4.7	5.0
質問10	4.7	4.7	5.0
質問11	4.9	4.8	5.0
質問12	4.7	4.7	5.0
質問13	4.7	4.7	5.0
質問14	4.6	4.5	5.0
質問15	4.3	4.3	4.0
質問16	4.4	4.5	4.0
質問17	4.4	4.5	4.0
平均	4.6	4.6	4.7

- 質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施
- 質問 8 : 教員の授業時間遵守
- 質問 9 : 教員の話し方
- 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用
- 質問11 : 教員の説明のわかり易さ
- 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮 (私語の注意等)
- 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応
- 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映
- 質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか
- 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか
- 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.4
質問19	4.4
質問20	4.0
質問21	4.1
質問22	4.3
質問23	4.3
平均	4.3

- 質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか
- 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか
- 質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3…)
- 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか
- 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか
- 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担当者名	科 目 名	履修者数
文学部	人間関係学科	細井浩志	日本史講義Ⅱ	9

2018年度後期授業評価アンケート集計結果：教員による分析・評価と2019年度に向けての取り組み

I. 分析と評価

全体平均、上位Gは平均的だったが、下位Gの評価は平均の3.7を上回る4.7であった。テーマは長崎県の歴史であったが、パワーポイントで地図や写真を示し、毎回最初に基本的な事項（長崎県の地理など）を確認するなどの工夫をしてみた成果が出たのだろうと思う。この授業で、長崎県の基本的な特性を理解できたはずなので、今後、地域というものを理解するきっかけとなってほしいと思う。

ただ全体の進度が予定より遅れてしまったので、もう少しペースをあげる工夫もしてみたいと思う。

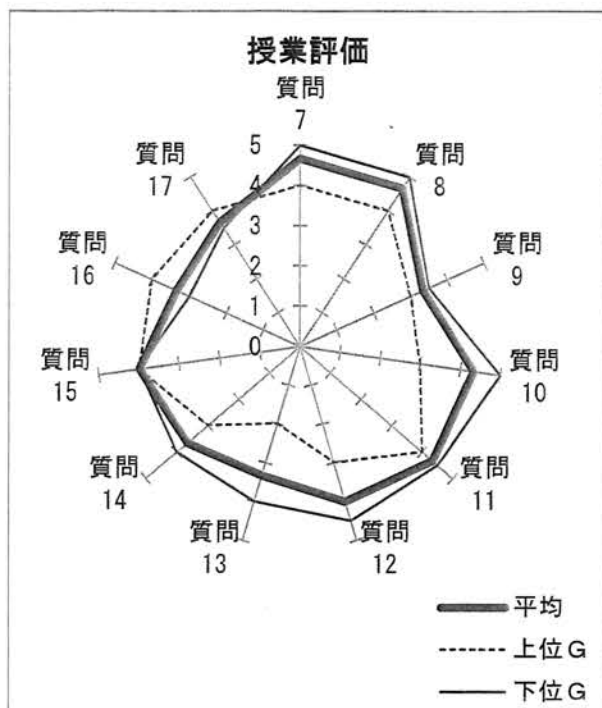
II. 2019年度に向けての取り組み

2019年度担当予定科目名： 日本史講義Ⅱ

別のテーマを考えている。人間関係学科の学生が対象で、歴史は苦手だという者もいる。興味あるテーマを取り上げると同時に、難解な内容をどのように興味深く伝えるのか考えたい。

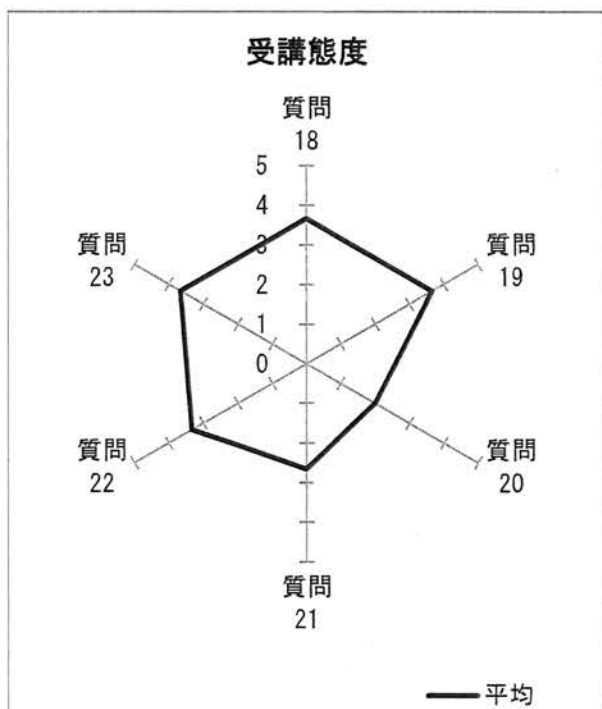
科目コード 320 (2018年度 後期)

文学部 人間関係学科 光富 隆 人間関係基礎セミナー



質問項目	平均	上位G	下位G
質問 7	4.7	4.0	5.0
質問 8	4.7	4.0	5.0
質問 9	3.3	3.0	3.5
質問10	4.3	3.0	5.0
質問11	4.3	4.0	4.5
質問12	4.0	3.0	4.5
質問13	3.3	2.0	4.0
質問14	3.7	3.0	4.0
質問15	4.0	4.0	4.0
質問16	3.3	4.0	3.0
質問17	3.7	4.0	3.5
平均	3.9	3.5	4.2

- 質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施
- 質問 8 : 教員の授業時間遵守
- 質問 9 : 教員の話し方
- 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用
- 質問11 : 教員の説明のわかり易さ
- 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮(私語の注意等)
- 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応
- 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映
- 質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか
- 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか
- 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	3.7
質問19	3.7
質問20	2.0
質問21	2.7
質問22	3.3
質問23	3.7
平均	3.2

- 質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか
- 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか
- 質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3…)
- 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか
- 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか
- 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学 部 名	学 科 名	担当者名	科 目 名	履修者数
文学部	人間関係	光富隆	人間関係基礎セミナー	7名

2019年度前期授業評価アンケート集計結果：教員による分析・評価と2020年度に向けての取り組み

I. 分析と評価

授業評価の欄を見ると、全体的に得点が低いことがわかる。特に、教員の話し方が低い。また、授業は興味・関心・意欲を十分に引き出していないことがわかる。さらに、学生の理解度の確認と授業への反映の箇所が低い。また、受講態度の欄を見ると、欠席の回数が多く、授業の予習・復習の欄が低い。このような結果がでるのは主として授業が面白くないせいであると思われる。授業は、まとめたプリントをくばり、それを中心に説明していった。もっと視聴覚教材を用いて、授業への関心・興味をかきたてられたらと思う。また、話すスピードはゆっくりとわかりやすく話したいと思う。

II. 2020年度に向けての取り組み

2020年度担当予定科目名：人間関係基礎セミナー _____

(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

授業はプリントを中心に進められている。もっと視聴覚教材を用いて、授業を行いたい。特に、最近の学生は活字離れが目立つ。視聴覚教材に訴え、魅力のある授業をしたい。そうすれば、欠席回数も少なくなるし、私語なども減ると思われる。